

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスNoah		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 15日		~ 2026年 2月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18 (回答者数)	14
○従業者評価実施期間	2025年 1月15日		~ 2026年 2月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・里山を通じて日常とは違った雰囲気を感じられる。	・普段とは違う戸外活動の中で自然に目を向け自然の中で見つけた素材を使い遊びや形に変えていく楽しさを体験する場を心掛けております。 ・与えられたものではなく、発見し考えた方法を使わずは「やってみる。」ことから始め「生きる。」楽しさを体験してもらいます。 ・火のおこし方を安全面に注意しながら1から取り組むことで災害時の過ごし方なども伝えていきます。 ※大きな事故に繋がると予想できる行動については制止する。	・自然の中で取り組む際、環境保全について伝えていきます。 ・スタッフが主体となり活動内容の企画を実施する中でそれぞれの視点を他児に伝える。(活動内容の多様化) ・戸外での調理体験により災害時の過ごし方や調理方法の探索を行い災害時を想定した炊き出しに興味を持ってもらう。
2	・外へ出ていくことが多く、戸外活動が豊富。	・送迎を活用したコミュニケーションスキルを伝えていきます。 ・戸外活動の過ごし方や遊び方、周りの人への配慮や行動理解の発信に努めます。 ・日々の生活の中で貯めこんでる感情やフラストレーションを身体を動かすことで発散してもらいます。	・限られたスペースの中、整えられた環境から飛び出し都度発生するであろうイレギュラーを経験することで集団行動の決まりや注意点を伝えていきます。 ・様々な移動手段を経験することで対応の切り替えや手段の選択支を増やしていきます。
3	・日々のMTで子どもたちの様子を伝え合い、支援内容・関わり方について共有できている。	・定期的に研修に参加の機会を設け様々な事例に対する支援の仕方の理解を深めていきます。 ・本児の気持ちに寄り添いながら楽しんで来所、明日も来たいと思える活動を職員一同心掛けながら日々支援に取り組んでおります。	・活動の中で友達への応援や励ましを伝えていきます。 ・自発的な生活習慣や対人スキルが学べるよう職員が見守り、必要ならば声掛けや誘導を行います。 ・職員より一層のスキルアップに繋がる話し合いや研修を実施していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者の交流の場や避難訓練など実施はしているが情報が周知しきれていないこと。	・毎月配布している予定表への記載が不十分。 ・LINEによる一斉案内で個別対応が優先してしまい全体周知に至っていない。 ・保護者との情報共有が送迎時で完結してしまっている。	・予定表を見やすくする。 ・イベント案内時文章だけではなくポップアップとして家族参加を強調したイラスト表示で伝える。 ・インスタグラムを活用し日々の活動の配信に努める。
2	・生活空間や設備等、障害特性に応じたバリアフリー化や活動時の安全性が見えにくい。	・保護者様の事業所への来所が少なく安全対策を目にしていたく機会が乏しい。 ・立地概要が先に目に入ってしまうその中の自発的自己防衛の重要性を意識した活動内容が伝えきれていない。	・注意喚起表示を分かりやすい表示に変える。 ・戸外活動や運動あそびを活用しながらフラストレーションの発散に努めてまいります。 ・自己防衛や危険認知について都度説明していきます。
3	・必要に応じての家族支援やご相談を受け付けているが頻度にするとな少ない。	・進級や在籍変更、登校状況等保護者様からの相談待ち状態になってしまっている。 ・相談方法の窓口が周知できていない。 ・送迎時の簡潔な相談で完結してしまっている。	・保護者様はもちろん学校側とも情報交換に努めていきたい。 ・必要ならば相談方法や窓口の提案を積極的に行っていく。 ・保護者も参加できる懇談会や交流会、研修の開催を検討する。